

## 参考2 アンケート票



参考資料 アンケート票

(1)小中高校生アンケート票

I. 基本情報

問1. あなたの学年を教えてください。 (あてはまるものを1つ選んでください)
1. 小学6年生 2. 中学2年生 3. 高校2年生 4. 定時制高校2年生相当 5. あてはまるものはない
問2. あなたの性別を教えてください。 (あてはまるものを1つ選んでください)
1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない
問3. あなたが現在住んでいる市町村を教えてください。 (あてはまるものを1つ選んでください)
問4. あなたが通っている学校名を教えてください。
問5. あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。 (あてはまるものをすべて選んでください)
1. お母さん 2. お父さん 3. おばあさん 4. おじいさん 5. 兄・姉 ⇒ ( ) 人 6. 弟・妹 ⇒ ( ) 人 7. その他 ( )

問6. あなたの健康状態について教えてください。 (あてはまるものを1つ選んでください)
1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

II. ふだんの生活について

問7. あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることはありますか。 ①欠席について (あてはまるものを1つ選んでください)
1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する
②遅刻や早退について (あてはまるものを1つ選んでください)
1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする
問8. 習い事や課外活動(部活動を含む)をしていますか。 (あてはまるものを1つ選んでください)
1. はい 2. いいえ
問9. ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。 (あてはまるものをすべて選んでください)
1. 授業中に寝てしまうことが多い 2. 宿題や課題ができていないことが多い 3. 持ち物の忘れ物が多い

<p>4. 習い事や課外活動(部活動を含む)を休むことが多い</p> <p>5. 提出物を出すのが遅れることが多い</p> <p>6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する</p> <p>7. 保健室で過ごすことが多い</p> <p>8. 学校では一人で過ごすことが多い</p> <p>9. 友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない</p> <p>10. 特にない</p>
<p>&lt;中高生のみ&gt;</p> <p>問 10-1. 現在、悩んだり困っていることはありますか。(あてはまるものをすべて選んでください)</p> <p>1. 友だちとの関係のこと</p> <p>2. 学業成績のこと</p> <p>3. 進路のこと</p> <p>4. 部活動のこと</p> <p>5. 学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと</p> <p>6. 塾(通信含む)や習い事ができない</p> <p>7. 家庭のお金のこと</p> <p>8. 自分と家族との関係のこと</p> <p>9. 家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)</p> <p>10. 病気や障がいのある家族のこと</p> <p>11. 自分のために使える時間が少ない</p> <p>12. その他( )</p> <p>13. 特にない</p>
<p>&lt;小学生のみ&gt;</p> <p>問 10-2. あなたが悩んでいることはありますか。</p> <p>(あてはまるものをすべて選んでください)</p> <p>1. 友だちのこと</p> <p>2. 学校の成績のこと</p>

<p>3. 習い事や課外活動のこと</p> <p>4. 家族のこと</p> <p>5. 生活や勉強に必要なお金のこと</p> <p>6. 自分のために使える時間が少ないこと</p> <p>7. その他( )</p> <p>8. 特にない</p>
<p>&lt;問 10-1(中高生)で1~12のいずれかを選んだ人、問 10-2(小学生)で1~7のいずれかを選んだ人&gt;</p> <p>問 11. 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。</p> <p>(あてはまるものを1つ選んでください)</p> <p>1. 相談相手や話を聞いてくれる人がいる</p> <p>2. 相談相手や話を聞いてくれる人がいない</p> <p>3. 相談や話はしたくない</p>
<p>問 12. あなたは、ふだん次のようなことをどのくらいしていますか。(あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください)</p> <p>①朝ごはんを食べること</p> <p>②自分が食べるためのごはんをつくること</p> <p>③自分が着た服を洗濯すること</p> <p>④おうちの大人の人に勉強をみてもらうこと</p> <p>⑤おうちの大人の人と一緒に遊んだり体を動かすこと</p> <p>⑥おうちの大人の人と一緒に外出をすること(散歩、買い物、外食など)</p> <p>1. ほぼ毎日</p> <p>2. 週に3~4回</p> <p>3. 週に1~2回</p> <p>4. 月に1~2回</p> <p>5. ほぼない</p>

問 13. 問 12①「朝ごはんを食べること」で  
「1. ほぼ毎日」以外を選択した方にお聞き  
します。

あなたが朝ごはんを食べない理由は何ですか。

(あてはまるものを1つ選んでください)

1. 時間がない
2. おなかがすいていない
3. 用意されていない
4. わからない

### Ⅲ. 家庭や家族のことについて

問 14. 家族(一緒に住んでいない家族も含む)  
の中にあなたがお世話をしている人はい  
ますか。(ここで「お世話」とは、普  
通、大人が行うような家事や家族のお世  
話のことを指します。)

(あてはまるものを1つ選んでください)

1. いる
2. いない ⇒問 26 へ

問 15. 問 14 で「1. いる」と答えた人にお聞  
きします。

あなたは誰に、どのようなお世話をし  
ていますか。

①あなたがお世話をしている人

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. その他 ( )

②-a お母さん、あるいはお父さんをお世話し  
ている人に聞きます。(問 15 で 1 または 2 を

選択)

お世話をしているのは、どのような理由のた  
めですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 高齢 (65 歳以上)
2. 介護が必要 (食事や身の回りのお世話など)
3. 認知症
4. 身体障がい
5. 知的障がい
6. 精神障がい (うつ病などのこころの病気)  
※疑いを含む
7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられ  
ず、生活に問題を抱えている) ※疑いを含む
8. 6,7 以外の病気
9. 日本語が苦手
10. その他 ( )
11. わからない

②-b おばあさん、あるいはおじいさんをお世  
話している人にお聞きします。(問 15 で 3  
または 4 を選択)

お世話をしているのは、どのような理由のた  
めですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 高齢 (65 歳以上)
2. 介護が必要 (食事や身の回りのお世話など)
3. 認知症
4. 身体障がい
5. 知的障がい
6. 精神障がい (うつ病などのこころの病気)  
※疑いを含む
7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられ  
ず、生活に問題を抱えている) ※疑いを含む
8. 6,7 以外の病気

9. 日本語が苦手

10. その他 ( )

11. わからない

②-c きょうだいをお世話している人にお聞き  
します。(問 15 で 5 を選択)

お世話をしているのは、どのような理由のため  
ですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 幼い
2. 介護が必要 (食事や身の回りのお世話など)
3. 身体障がい
4. 知的障がい
5. 病気
6. 日本語が苦手
7. その他 ( )
8. わからない

②-d 「その他」の人をお世話している人にお  
聞きします。(問 15 で 6 を選択)

お世話をしているのは、どのような理由のため  
ですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 高齢 (65 歳以上)
2. 幼い
3. 介護が必要 (食事や身の回りのお世話など)
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神障がい (うつ病などのこころの病気)  
※疑いを含む
8. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられ  
ず、生活に問題を抱えている) ※疑いを含む
9. 7, 8 以外の病気

10. 日本語が苦手

11. その他 ( )

12. わからない

b) あなたはどのようなお世話をしています  
か。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいのお世話や保育所等の送り迎えな  
ど
3. 入浴やトイレのお世話など (身体的な介護)
4. 買い物や散歩に一緒に行く (外出の付き添  
い)
5. 病院へ一緒に行く (通院の付き添い)
6. 話を聞く (感情面のサポート)
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. お金の管理
10. 薬の管理
11. 役所や学校などの書類の手続き
12. その他 ( )

何人かお世話をしている人がいる場合には、そ  
れぞれの人ごとではなく、あてはまるものをす  
べて選んでください。

③あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. 親戚の人 (おじさん、おばさんなど)
7. 自分のみ
8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
9. その他 ( )

④あなたは何才からお世話をしていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)

( ) 才から

⑤あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまるものを1つ選んでください)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～5日
3. 週に1～2日
4. 1か月に数日
5. その他 ( )

⑥あなたは平日と休日それぞれ何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月の中で一番長かった日の時間を教えてください)

平日1日 ( ) 時間くらい

休日1日 ( ) 時間くらい

<中高生のみ>

問 16-1. お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 学校に行きたくても行けない
2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. 睡眠が十分に取れない
5. 友だちと遊ぶことができない
6. 部活動や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった
7. 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
8. 自分の時間が取れない
9. その他 ( )
10. 特にない

<小学生のみ>

問 16-2. お世話をしていることで、以下のよ  
うなことを経験したことはあります  
か。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 学校を休んでしまう
2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 寝る時間が足りない
5. 友だちと遊ぶことができない
6. 習い事や課外活動ができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他 ( )
9. 特にない

問 17. お世話をすることに大変さを感じて  
いますか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 体力の面で大変
2. 気持ちの面で大変
3. 時間の余裕がない
4. 特に大変さは感じていない

問 18. あなたがお世話をしている家族のこ  
とや、お世話の悩みについて誰かに相談  
したことはありますか。

(あてはまるものを1つ選んでください)

1. ある  
⇒問 19-1 へ (中高生)、問 19-2 へ (小学  
生)
2. ない  
⇒問 20-1 へ (中高生)、問 20-2 へ (小学  
生)

<問 18 で「1. ある」を選んだ人：中高生のみ  
>

問 19-1. 相談した人は誰ですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 家族 (父、母、祖父、祖母、きょうだい)
2. 親戚 (おじさん、おばさんなど)
3. 友だち
4. 学校の先生 (保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その他病院の人
8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
9. 役所や保健センターの人
10. 近所の人
11. SNS (LINE など) 上での知り合い
12. 中高生「SNS 相談@ちば」
13. 千葉県子どもと親のサポートセンター電話相談
14. 中核地域生活支援センター (※にあるセンターのうち該当するものがあれば選択してください)
15. 中核地域生活支援センター以外の支援センター
16. 子ども食堂の人
17. 学校の外で勉強を教えてくれる先生 (学習支援の先生等)
18. その他 ( )

※中核地域生活支援センター 一覧

- ・ まるっと
- ・ がじゅまる
- ・ ほっとねっと
- ・ のだネット
- ・ いんば中核地域生活支援センターすけっと
- ・ 香取CCC
- ・ 海匠ネットワーク

- ・ さんネット
- ・ 長生ひなた
- ・ 夷隅ひなた
- ・ ひだまり
- ・ 君津ふくしネット
- ・ いちはら福祉ネット

<問 18 で「1. ある」を選んだ人：小学生のみ  
>

問 19-2. 相談した人は誰ですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 家族 (お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい)
2. しんせき (おじさん、おばさんなど)
3. 友だち
4. 学校の先生 (保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その他病院の人
8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
9. 役所や保健センターの人
10. 近所の人
11. SNS (LINE など) 上での知り合い
12. 千葉県子どもと親のサポートセンター電話相談
13. 中核地域生活支援センター (※にあるセンターのうち該当するものがあれば選択してください)
14. 中核地域生活支援センター以外の支援センター
15. 子ども食堂の人
16. 学校の外で勉強を教えてくれる先生 (学習支援の先生等)
17. その他 ( )



※中核地域生活支援センター一覧

- ・まるっと
- ・がじゅまる
- ・ほっとねっと
- ・のだネット
- ・いんば中核地域生活支援センターすけっと
- ・香取CCC
- ・海匠ネットワーク
- ・さんネット
- ・長生ひなた
- ・夷隅ひなた
- ・ひだまり
- ・君津ふくしネット
- ・いちはら福祉ネット

<問 18 で「2. ない」を選んだ人：中高生のみ  
>

問 20-1. 相談していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のここのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思わない
9. その他 ( )

<問 18 で「2. ない」を選んだ人：小学生のみ  
>

問 20-2. 相談していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない

4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のここのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族のことを特別な目で見られたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思わない
9. その他 ( )

<問 18 で「2. ない」を選んだ人：小中高生共通  
>

問 21. あなたがお世話をしている家族のこと  
や、お世話の悩みを聞いてくれる人は  
いますか。

(あてはまるものを1つ選んでください)

1. いる
2. いない

<中高生のみ>

問 22-1. 学校や周りの大人に助けてほしいこ  
とや、必要としている支援はありますか。

(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい、お世話のことなどに  
ついてわかりやすく説明してほしい
4. 自分が行っているお世話のすべてを代わっ  
てくれる人やサービスがほしい
5. 自分が行っているお世話の一部を代わっ  
てくれる人やサービスがほしい  
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時  
で  
すか ( )
6. 自由に使える時間がほしい
7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
9. お金の面で支援をしてほしい
10. その他 ( )
11. 特にない

12. わからない
<p>&lt;小学生のみ&gt;</p> <p>問 22-2. 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。</p> <p>(あてはまるものすべてを選んでください)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分のことについて話を聞いてほしい</li> <li>2. 家族のお世話について相談にのってほしい</li> <li>3. 家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい</li> <li>4. 自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい</li> <li>5. 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい</li> </ol> <p>⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ( )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 自由に使える時間がほしい</li> <li>7. 勉強を教えてほしい</li> <li>8. お金の面で支援をしてほしい</li> <li>9. その他 ( )</li> <li>10. 特にない</li> <li>11. わからない</li> </ol>
<p>問 23. 自分や家族のことで話を聞いたり相談にのってくれるとしたら、どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。</p> <p>(あてはまるものすべてを選んでください)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 直接会って</li> <li>2. 電話</li> <li>3. SNS (LINE など)</li> <li>4. 電子メール</li> <li>5. その他 ( )</li> </ol>
<p>問 24. 家族やしんせき、友だち以外で、どういう相手が相談しやすいと思いますか。</p> <p>(あてはまるものすべてを選んでください)</p>

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校の先生、保健室の先生</li> <li>2. 役所や保健センターの人</li> <li>3. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの心理士</li> <li>4. 同じような悩みを持った経験がある人(ピアサポートの人など)</li> <li>5. 近所の人(民生委員・児童委員、ファミリーサポートの人達も含む)</li> <li>6. 支援センターの人</li> <li>7. 子ども食堂の人</li> <li>8. 学校の外で勉強を教えてくれる先生(学習支援の先生等)</li> <li>9. その他 ( )</li> <li>10. わからない</li> </ol>
<p>問 25. 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいこと(問 22-1、問 22-2 で書ききれなかったことなど)を自由に書いてください。</p>

#### IV. ヤングケアラーについて

※小中高校生全員対象。

<p>問 26. あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。</p> <p>(あてはまるものを1つを選んでください)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. あてはまる</li> <li>2. あてはまらない</li> <li>3. わからない</li> </ol>
<p>問 27. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。</p> <p>(あてはまるものを1つを選んでください)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聞いたことがあり、内容も知っている</li> <li>2. 聞いたことはあるが、よく知らない</li> </ol>

3. 聞いたことはない

<問 27 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」を選んだ人>

問 28. 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてを選んでください)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNS (LINE など) やインターネット
4. 広報やチラシ、掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友だち・知人から聞いた
8. その他 ( )

問 29. 自由記述欄 (ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、要望等なんでも (ヤングケアラーにあてはまらない人も自由に書いてください))

家族のためにお手伝いすることは素晴らしいことです。家族を大切にすると同じように、あなた自身も大切にしてほしいです。

今、休むことはできていますか。自分のやりたいことはできていますか。

何か困ったことがあれば、学校の先生や近くの頼れる大人、電話相談などに自分の気持ちを話してください。

[相談先]

○児童相談所相談専用ダイヤル

0120-189-783 (フリーダイヤル) ※通話料無料

受付時間: 24時間受付 (年中無休)

○24時間子ども SOS ダイヤル

0120-0-78310 (フリーダイヤル) ※通話料無料

受付時間: 24時間受付 (年中無休)

○その他の相談先を知りたい人やヤングケアラーについて詳しく知りたい人はこちら

厚生労働省 特設ページ「子どもが子どもでいられる街に」

<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>



(2)大学生アンケート票

I. 基本情報

問1. あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○) 1. 大学3年生 2. 大学3年生以外
問2. あなたの性別を教えてください。 (あてはまるものを1つ選んでください) 1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない
問3. あなたの年齢を教えてください。 ( ) 歳
問4. 現在住んでいる市町村を教えてください。 (あてはまる番号1つに○)
問5. あなたが通っている大学名を教えてください。
問6. 大学種別を教えてください。 (あてはまる番号1つに○) 1. 国立 2. 私立
問7. 大学の学科(専攻)を教えてください。 (あてはまる番号1つに○) 1. 文・外国語・国際・文化系 2. 法・政・経・商・社系 3. 理・工・農系 4. 医・歯・薬系 5. 看護・保健・福祉系 6. 教育・教員養成・家政・生活系 7. 芸術・スポーツ系

8. その他 ( )
問8. 現在の住まい方を教えてください。 (あてはまる番号すべてに○) 1. 家族と同居 2. 一人暮らし 3. 寮 4. その他 ( )
問9. 問8で「1. 家族と同居」と回答した方にお聞きします。現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○) 1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. 兄・姉 ⇒ ( ) 人 6. 弟・妹 ⇒ ( ) 人 7. その他 ( )
問10. あなたの健康状態について教えてください。 (1) 身体面の健康状態(あてはまる番号1つに○) 1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない (2) 精神面の健康状態(あてはまる番号1つに○) 1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

問 11. 大学までの片道の通学時間を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 15分未満
2. 15分以上 30分未満
3. 30分以上 45分未満
4. 45分以上 1時間未満
5. 1時間以上 1時間半未満
6. 1時間半以上 2時間未満
7. 2時間以上

問 12. 奨学金の受給状況を教えてください。

(1) 奨学金の受給状況 (あてはまる番号1つに○)

1. 貸与・給付の両方を受けている
2. 貸与奨学金を受けている (返済が必要)
3. 給付奨学金を受けている (返済不要)
4. 申請したが不採用になった
5. 希望はあったが申請しなかった・できなかった
6. そもそも奨学金は必要なく、申請していない

⇒3～6 回答者は問 13 へ

(2) (1) で「1. 貸与・給付の両方を受けている」「2. 貸与奨学金を受けている」と回答した方にお聞きします。大学卒業時の予定貸与総額がわかれば教えてください。

(任意)

貸与総額 (                      ) 円

II. ふだんの生活について

問 13. 現在通う大学を選択した理由を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 自分のやりたいことができる・学べる
2. 社会で役立つことが学べる

3. 実家から近い・通える範囲内にある
4. 学費が安い
5. 時間的に講義等に出席しやすい
6. その他 (                      )

問 14. 大学の授業 (履修している講義) への出席状況等について教えてください。

(1) 出席状況 (あてはまる番号1つに○)

1. ほとんど欠席しない
2. たまに欠席する
3. よく欠席する

(2) 遅刻や早退の状況 (あてはまる番号1つに○)

1. ほとんどしない
2. たまにする
3. よくする

問 15. 日々の生活においてこれらに取り組む時間を希望通りに確保できていますか。

(各項目について、希望がある場合は1-5の中から1つ選択してください。実施・参加の希望がなく実施・参加していない場合は、6を選択してください)

(各項目について、それぞれあてはまる番号1つを選択)

	1. 確保できている	2. 概ね確保できている	3. どちらともいえない	4. あまり確保できていない	5. 確保できていない	6. 希望しておらず、実施・参加していない
1. 大学の授業の受講 (ゼミ含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 部活・サークル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. アルバイト・仕事	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



3. 祖母  
 4. 祖父  
 5. きょうだい  
 6. その他 ( )

---

②-a) 母親、あるいは父親をお世話している人にお聞きします。(問 20 で 1 または 2 を選択) お世話をしているのは、どのような理由のためですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢 (65 歳以上)  
 2. 要介護 (介護が必要な状態)  
 3. 認知症  
 4. 身体障がい  
 5. 知的障がい  
 6. 精神障がい (うつ病などのこころの病気) (疑い含む)  
 7. 依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など) (疑い含む)  
 8. 6、7 以外の病気  
 9. 日本語が苦手  
 10. その他 ( )  
 11. わからない

②-b) 祖母あるいは祖父をお世話している人にお聞きします。(問 20 で 3 または 4 を選択) お世話をしているのはどのような理由のためですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢 (65 歳以上)  
 2. 要介護 (介護が必要な状態)  
 3. 認知症  
 4. 身体障がい  
 5. 知的障がい  
 6. 精神障がい (うつ病などのこころの病気) (疑い含む)

7. 依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など) (疑い含む)  
 8. 7、8 以外の病気  
 9. 日本語が苦手  
 10. その他 ( )  
 11. わからない

②-c) きょうだいをお世話している人にお聞きします。(問 20 で 5 を選択) お世話をしているのは、どのような理由のためですか。(あてはまる番号にすべて○)

1. 幼い  
 2. 要介護 (介護が必要な状態)  
 3. 身体障がい  
 4. 知的障がい  
 5. 精神障がい (うつ病などのこころの病気) (疑い含む)  
 6. 5 以外の病気  
 7. 日本語が苦手  
 8. その他 ( )  
 9. わからない

②-d) 「その他」の人をお世話している人にお聞きします。(問 20 で 6 を選択) お世話をしているのは、どのような理由のためですか。(あてはまる番号にすべて○)

(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 高齢 (65 歳以上)  
 2. 幼い  
 3. 介護が必要 (食事や身の回りのお世話など)  
 4. 認知症  
 5. 身体障がい  
 6. 知的障がい





<p>4. 大学1年生まで</p> <p>5. 直近まで</p>
<p>問 21. 問 20⑥でお世話を始めた時期が「6. 大学入学以降」と回答した方以外にお伺いします。お世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)</p> <p>1. 受験勉強をする時間が取れなかった</p> <p>2. 学費等の制約や経済的な不安があった</p> <p>3. 実家から通える範囲等の通学面の制約があった</p> <p>4. 家族等から世話を優先するよう求められた</p> <p>5. 進学するか働くか迷った</p> <p>6. 大学以外の進学先と迷った</p> <p>7. その他 ( )</p> <p>8. 特にない</p>
<p>問 22. お世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)</p> <p>1. 大学の授業に行きたくても行けなかった</p> <p>2. 単位をとれなかった、留年・休学した</p> <p>3. 課題・予習復習をする時間が取れなかった</p> <p>4. 留学をあきらめた</p> <p>5. 睡眠が十分に取れなかった</p> <p>6. 友人と遊ぶことができなかった</p> <p>7. 部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった</p> <p>8. 課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった</p> <p>9. アルバイトができなかった</p> <p>10. 就職先・進路の変更を考えざるを得なかった、変更した</p> <p>11. 一人暮らしをしたくてもできなかった</p>

<p>12. 恋愛をしたくてもできなかった</p> <p>13. 自分の時間が取れなかった</p> <p>14. その他 ( )</p> <p>15. 特になかった</p>
<p>問 23. お世話をしていることで、今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)</p> <p>1. 大学の授業に行きたくても行けない</p> <p>2. 単位取得、進級・卒業できるか不安がある</p> <p>3. 課題・予習復習をする時間が取れない</p> <p>4. 留学に行けない</p> <p>5. 睡眠が十分に取れない</p> <p>6. 友人と遊ぶことができない</p> <p>7. 部活や習い事ができない</p> <p>8. アルバイトができない</p> <p>9. 就職活動の時間が取れない</p> <p>10. 希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない</p> <p>11. 一人暮らしができるか不安がある</p> <p>12. 恋愛・結婚に対する不安がある</p> <p>13. 自分の時間が取れない</p> <p>14. その他 ( )</p> <p>15. 特にない</p>
<p>問 24. お世話をしていることで、就職に関し不安はありますか。(あてはまる番号すべてに○)</p> <p>1. 正社員として就職できるか不安がある</p> <p>2. 休まず働けるか不安がある</p> <p>3. 通勤できる地域が限られる</p> <p>4. 働ける時間帯が限られる</p> <p>5. 就職先について考える時間がない</p> <p>6. その他 ( )</p> <p>7. わからない</p>

8. 特にない
問 25. お世話をすることにきつきを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 身体的にきつい 2. 精神的にきつい 3. 時間的余裕がない 4. 特にきつきは感じていない
問 26. ご自身がお世話をする理由をどのようにとらえていますか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 自分がお世話をしたいと思うため 2. 自分がお世話をしないと家族が困るため 3. ほかにお世話をできる人がいないため 4. ほかの家族や親せき等から世話をされるよう言われているため 5. その他 ( ) 6. わからない・考えたことがない
問 27. お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)
1. ある ⇒問 28 へ 2. ない ⇒問 29 へ
問 28. 問 27 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい) 2. 親戚(おじ、おばなど) 3. 友人 4. 交際相手、配偶者 5. 大学の指導教員 6. 大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター 7. その他大学の職員・機関

8. 医師や看護師、その他病院の人
9. ホームヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
10. 役所の人(自治体の保健センター等含む)
11. 近所の人
12. SNS(LINE など)上での知り合い
13. 中高生「SNS相談@ちば」
14. 千葉県子どもと親のサポートセンター電話相談
15. 中核地域生活支援センター(※にあるセンターのうち該当するものがあれば選択してください)
16. 中核地域生活支援センター以外の支援センター
17. 子ども食堂の人
18. 学校の外で勉強を教えてくれる先生(学習支援の先生等)
19. その他 ( )
※中核地域生活支援センター一覧
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まるっと</li> <li>・がじゅまる</li> <li>・ほっとねっと</li> <li>・のだネット</li> <li>・いんば中核地域生活支援センターすけっと</li> <li>・香取CCC</li> <li>・海匝ネットワーク</li> <li>・さんネット</li> <li>・長生ひなた</li> <li>・夷隅ひなた</li> <li>・ひだまり</li> <li>・君津ふくしネット</li> <li>・いちはら福祉ネット</li> </ul>
問 29. 問 27 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教え

てください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のここのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わると思わない
9. その他 ( )

問 30. 問 27 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。  
(あてはまる番号 1 つに○)

1. いる
2. いない

問 31. 大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分が行っているお世話のすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい
5. 自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい

⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ( )

6. 自由に使える時間がほしい
7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい

8. 大学の勉強や学習のサポート
9. 家庭への経済的な支援
10. 学費への支援・奨学金等
11. その他 ( )
12. 特にない
13. わからない

問 32. 自分や家族のことで話を聞いたり相談にのってくれるとしたら、どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。  
(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS (LINE など)
4. 電子メール
5. その他 ( )

問 33. 家族や親戚、友人、交際相手以外で、どういう相手が相談しやすいと思いますか。  
(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 大学の先生
2. 役所や保健センターの人
3. スクールカウンセラーなどの心理士
4. 同じような悩みを持った経験がある人 (ピアサポートの人など)
5. 近所の人 (民生委員・児童委員、ファミリーサポートの人達も含む)
6. 支援センターの人
7. 子ども食堂の人
8. 学校の外で勉強を教えてくれる先生 (学習支援の先生等)
9. その他 ( )
10. わからない

問 34. 家族のお世話をしている若者のために、必要だと思うことや、大学や周囲の人にし



### (3) 学校アンケート票

## 千葉県 令和4年度「ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究」 学校におけるヤングケアラーへの支援に関するアンケート調査

### 【ご回答方法】

- ：あてはまる選択肢を1つだけ選択してください。  
□：あてはまる選択肢をすべて選んでください。（複数選択可）  
 数字または自由記述をご入力ください。枠の大きさは変更できませんが、文字数の制限等はございません。  
また、すべての回答内容が表示されていなくてもセル内に入力されていれば差し支えありません。  
※お答えいただく必要がない設問に誤って回答した場合でも、そのまま先にお進みください。  
※全日制と定時制を併設している高校は、それぞれご回答ください。  
※義務教育学校は、前期課程と後期課程それぞれご回答ください

### I. ご回答にあたり、貴校および回答者についてお教えてください。

- ① 貴校が所在する市町村を教えてください。  
※市町村立の場合は、その学校を管轄する自治体を選んでください。

1

- ② 貴校の公立・私立の別をお教えてください。（1つ選択）※学校組合立は「公立」を選択してください。

1  公立  
2  私立

- ③ 貴校の学校区分をお教えてください。（1つ選択）

1  小学校（義務教育学校前期課程含む）  
2  中学校（義務教育学校後期課程含む）  
3  高等学校

- ④ 学校名を選択してください。

1

※上記①～③をご回答いただきますと学校名が選べるようになります。

- ⑤ 【高等学校の場合】課程をお教えてください。（1つ選択）

1  全日制  
2  定時制  
3  通信制

- ⑥ 【高等学校の場合】単位制の有無をお教えてください。（1つ選択）

1  あり  
2  なし

- ⑦ ご回答された方の役職をお教えてください。（管理職の方がご回答ください）（1つ選択）

1  校長  
2  副校長・教頭

- ⑧ ご回答にあたり、連絡先を教えてください。

個人情報の提供につきまして、以下にご同意の上、ご記入ください。

- お預かりする個人情報は、本アンケートに関するお問い合わせのために利用させていただきます。
- 一般財団法人地方自治研究機構および千葉県に提供させていただく場合がございます。
- お預かりする個人情報は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の「個人情報保護方針」〈<https://www.murc.jp/corporate/privacy>〉および「個人情報の取り扱いについて」〈<https://www.murc.jp/privacy/>〉に従って適切に取り扱います。
- お預かりしている個人情報の開示、訂正、利用停止等、もしくは、利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、調査依頼文に記載の調査事務局までお問い合わせください。

① 電話	<input type="text"/>
② メールアドレス	<input type="text"/>

- ⑨ 以下の学年の人数をお教えてください。（令和4年5月1日時点）（数字を記入）

小学校（義務教育学校前期課程含む） ➡ 小学6年生  
中学校（義務教育学校後期課程含む） ➡ 中学2年生  
高等学校 ➡ 高校2年生

人

II. 支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問1 スクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールカウンセラー（SC）の派遣・配置状況をお伺いします。（それぞれ1つ選択）

	1	2	3	4	5	6
	週に2～3回以上派遣・配置されている	週に1回程度派遣・配置されている	月に数回以下で派遣・配置されている	要請に応じて派遣される	その他	派遣・配置されていない
① SSWの派遣・配置状況	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○	6 ○
② SCの派遣・配置状況	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○	6 ○

「5. その他」をご回答された場合は具体的に教えてください。

① SSWの派遣・配置状況	
② SCの派遣・配置状況	

問2 下記の子どもについて校内で共有しているケースはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  学校を休みがちである
- 2  遅刻や早退が多い
- 3  保健室で過ごしていることが多い
- 4  精神的な不安定さがある
- 5  身だしなみが整っていない
- 6  学力が低下している
- 7  宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 8  保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 9  学校に必要なものを用意してもらえない
- 10  課外活動（部活動を含む）を途中でやめてしまった
- 11  修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 12  校納金が遅れる、未払い
- 13  その他（具体的に↓）

- 14  あてはまるものはない → 問7へ

問2で何らか校内で共有しているケースがあるとお答えいただいた場合（「14. あてはまるものはない」以外を選択した場合）にお伺いします。

問3 問2のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。最も多いケースでご回答ください。（1つ選択）

- 1 ○ 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している → 問4-1へ
- 2 ○ 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している → 問4-1へ
- 3 ○ 個別に対応している（決まった検討体制はない） → 問5へ

問3で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方にお伺いします。

問4-1 校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  スクリーニング会議  
※すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別を行う会議
- 2  ケース会議
- 3  生徒指導部・委員会など
- 4  児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有
- 5  教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名
- 6  その他（具体的に↓）

問4-2および問4-3は、問4-1で「1.スクリーニング会議」「2.ケース会議」「3.生徒指導部・委員会など」「6.その他」と回答した方にお伺いします。

問4-2 どの教職員が参加していますか。問4-1で回答された選択肢についてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてを選択）

	1 校長	2 副校長・教頭	3 主幹教諭	4 教務主任	5 学年主任	6 担任教諭	7 生徒指導教諭	8 養護教諭	9 MSW	10 SC	11 外部の関係機関	12 その他
① スクリーニング会議	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>
② ケース会議	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>
③ 生徒指導部・委員会など	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>
④ その他	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>

「11. 外部の関係機関」「12. その他」をご回答された場合は具体的に教えてください。

	11. 外部の関係機関	12. その他
① スクリーニング会議		
② ケース会議		
③ 生徒指導部・委員会など		
④ その他		

問4-3 会議の頻度はどれくらいですか。問4-1で回答された選択肢についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

	1 2週間に1回以上	2 月に1回程度	3 半年に1回程度	4 年に1回程度
① スクリーニング会議	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>
② ケース会議	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>
③ 生徒指導部・委員会など	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>
④ その他	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>

問3で「3. 個別に対応している」と回答した方にお伺いします。

問5 問2のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えください。

問6-1および問6-2は、問2で何らか校内で共有しているケースがあると答えいただいた場合（「14. あてはまるものはない」以外を選択した場合）にお伺いします。

問6-1 問2のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについて、お答えください。（それぞれ1つ選択）

	1 ある	2 特 に ない
① 要保護児童対策地域協議会の登録ケース	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
② 不登校のケース	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
③ それ以外	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>

問6-2 情報共有や対応の検討を行うための体制がある場合は、連携する関係機関をお答えください。（それぞれあてはまるものすべてを選択）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	市町村教育委員会	市町村の福祉部門（4を除く）	市町村の保健部門	市町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	教育支援センター（適応指導教室）	フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	児童相談所	地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	障がい者相談支援事業所	民生委員	病院	警察や刑事司法関係機関	中核地域生活支援センター	中核地域生活支援センター以外の支援センター	その他
① 要保護児童対策地域協議会の登録ケース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 不登校のケース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ それ以外	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「15. その他」をご回答された場合は具体的に教えてください。

① 要保護児童対策地域協議会の登録ケース	
② 不登校のケース	
③ それ以外	

## II. 支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問7 貴校では「ヤングケアラー」について、具体的に取り組んでいることはありますか。（1つ選択）

- 1 ○ 具体的に取り組んでいることがある → 問8へ
- 2 ○ 具体的に取り組んでいることはないが、検討している最中である → 問8へ
- 3 ○ 具体的に取り組んでいることはなく、検討も行っていない → 問10へ

問7で「1. 具体的に取り組んでいることがある」「2. 具体的に取り組んでいることはないが、検討している最中である」と回答した方にお伺いします。

問8 どのような取組を行っていますか。あるいは検討していますか。（1つ選択）

- 1 ○ ヤングケアラーを発見する・気づくための工夫をする → 問9へ
- 2 ○ ヤングケアラーに関する情報共有のあり方を工夫する
- 3 ○ ヤングケアラーに対する支援のあり方を工夫する
- 4 ○ 関係機関との連携のあり方を工夫する
- 5 ○ その他（具体的に↓）

問8で「1. ヤングケアラーを発見する・気づくための工夫をする」と回答した方にお伺いします。

問9 「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握しようとしていますか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
- 2  特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
- 3  その他（具体的に↓）



ヤングケアラーを把握していない方も含め、全員にお伺いします。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。

(資料) 厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

ヤングケアラーの定義を踏まえて、以下の設問にお答えください。

問10 ヤングケアラーの定義を見て、現在、貴校にヤングケアラーと思われる(可能性も含めて)子どもはいますか。(1つ選択)

- 1  いる ➡ 問11-1へ  
2  いない ➡ 問13へ  
3  分からない ➡ 問12へ

問11-1～問11-7は、問10で「1. いる」と回答した方にお伺いします。

問11-1 ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1  障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている  
2  家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている  
3  家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている  
4  目を離せない家族の見守りや声掛けをしている  
5  家族の通訳をしている  
6  家計を支えるために、アルバイト等をしている  
7  アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している  
8  病気の家族の看病をしている  
9  障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている  
10  障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている  
11  その他(具体的に↓)

問11-2 ヤングケアラーと思われる子どもについて、過去1年以内に具体的に学校以外の外部(教育委員会、役所、要保護児童対策地域協議会など)の支援につないだケースはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1  要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある ➡ 問11-3へ  
2  要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある ➡ 問11-3へ  
3  外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している) ➡ 問11-4へ

問11-3 問11-2で「1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」、「2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」と回答した方にお伺いします。

それぞれの該当する直近のケースについて1件ずつお教えください。それぞれ別のシートにてご回答ください。

① 要保護児童対策地域協議会に通告したケース

② 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケース

① 要保護児童対策地域協議会に通告したケースは、「ケース①」のシートにてご回答ください。

ケース①へ

② 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースは、「ケース②」のシートにてご回答ください。

ケース②へ

問11-4 問11-2で「3. 外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している)」と回答した方にお伺いします。

問11-2で「1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」、「2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」と回答した方は問11-5にお進みください。

外部の支援につながらなかった理由を教えてください。また、どのように対応しているのかお教えください。

① 理由	
② 対応方法	

問11-5 ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

問11-6 ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

問11-7 問2の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したのですが、追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。

①	ご意見	
②	変更項目案	
③	追加項目案	

問10で「3. 分からない」と回答した方にお伺いします。

問12 「3. 分からない」と回答した、その理由をお教えください。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 2  不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
- 3  家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
- 4  ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
- 5  その他（具体的に↓）

--

すべての方にお伺いします。

問13 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- 2  教職員がヤングケアラーについて知ること
- 3  学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
- 4  SSW やSC などの専門職の配置が充実すること
- 5  子どもが教員に相談しやすい関係をつくること
- 6  ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
- 7  学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- 8  学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
- 9  ヤングケアラーを支援するNPO などの団体が増えること
- 10  ピアサポート（同じ悩みを経験したことのある人たちが話をできる場所）の充実
- 11  ヤングケアラーの課題を把握し、支援をコーディネートできる人材
- 12  SNS、メール等のオンラインで相談できる環境
- 13  福祉と教育の連携を進めること（具体的に↓）

--

14  その他（具体的に↓）

--

15  特にない

問14 ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

--

## ケース①

問11-3 ①要保護児童対策地域協議会に通告したケースについて教えてください。

問1 性別（1つ選択）

- 1  男性
- 2  女性
- 3  その他

問2 学年（1つ選択）

1  リストから選択してください

問3 学校生活の状況（あてはまるものすべてを選択）

- 1  学校を休みがちである
- 2  遅刻や早退が多い
- 3  保健室で過ごしていることが多い
- 4  精神的な不安定さがある
- 5  身だしなみが整っていない
- 6  学力が低下している
- 7  宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 8  保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 9  学校に必要なものを用意してもらえない
- 10  課外活動（部活動を含む）を途中でやめてしまった
- 11  修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 12  校納金が遅れる、未払い
- 13  その他（具体的に↓）

問4 家族構成（あてはまるものすべてを選択）※分かる範囲でご回答ください。

- 1  母親
- 2  父親
- 3  祖母
- 4  祖父
- 5  きょうだい
- 6  その他（具体的に↓）

問5 家庭でのケアの状況を把握していますか。（1つ選択）

- 1  はい
- 2  いいえ

問5で「1. はい」の場合、ケアの具体的な状況を教えてください。

問5-1 a) ケアを必要としている人（あてはまるものすべてを選択）

- 1  母親
- 2  父親
- 3  祖母
- 4  祖父
- 5  きょうだい
- 6  その他（具体的に↓）

問5-2 b) ケアを必要としている人の状況（あてはまるものすべてを選択）

- 1  高齢（65歳以上）
- 2  若い
- 3  要介護（介護が必要な状態）
- 4  認知症
- 5  身体障がい
- 6  知的障がい
- 7  精神障がい（うつ病などのこころの病気）（疑いを含む）
- 8  依存症（疑いを含む）
- 9  7、8以外の病気
- 10  日本語を第一言語としない
- 11  その他（具体的に↓）
- 12  わからない

問5-3 c) ケアの内容（あてはまるものすべてを選択）

- 1  家事（食事の準備や掃除、洗濯）
- 2  きょうだいの世話や保育所等への送迎など
- 3  身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
- 4  外出の付き添い（買い物、散歩など）
- 5  通院の付き添い
- 6  感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
- 7  見守り
- 8  通訳（日本語や手話など）
- 9  金銭管理
- 10  薬の管理
- 11  役所や学校などの書類の手続き
- 12  その他（具体的に↓）
- 13  わからない

すべての方にお伺いします。

問6 ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ

問7 要保護児童対策地域協議会への通告ルート（1つ選択）

- 1  市町村教育委員会経由
- 2  学校から直接連絡
- 3  その他（具体的に↓）

問8 学校で行った支援（要対協との連携も含めて）

問9 支援した結果、子どもへの変化

## ケース②

問11-3 ②要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースについて教えてください。

問1 性別（1つ選択）

- 1  男性
- 2  女性
- 3  その他

問2 学年（1つ選択）

1  リストから選択してください

問3 学校生活の状況（あてはまるものすべてを選択）

- 1  学校を休みがちである
- 2  遅刻や早退が多い
- 3  保健室で過ごしていることが多い
- 4  精神的な不安定さがある
- 5  身だしなみが整っていない
- 6  学力が低下している
- 7  宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 8  保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 9  学校に必要なものを用意してもらえない
- 10  課外活動（部活動を含む）を途中でやめてしまった
- 11  修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 12  校納金が遅れる、未払い
- 13  その他（具体的に↓）

問4 家族構成（あてはまるものすべてを選択）※分かる範囲でご回答ください。

- 1  母親
- 2  父親
- 3  祖母
- 4  祖父
- 5  きょうだい
- 6  その他（具体的に↓）

問5 家庭でのケアの状況を把握していますか。（1つ選択）

- 1  はい
- 2  いいえ

問5で「1. はい」の場合、ケアの具体的な状況を教えてください。

問5-1 a) ケアを必要としている人（あてはまるものすべてを選択）

- 1  母親
- 2  父親
- 3  祖母
- 4  祖父
- 5  きょうだい
- 6  その他（具体的に↓）

問5-2 b) ケアを必要としている人の状況（あてはまるものすべてを選択）

- 1  高齢（65歳以上）
- 2  若い
- 3  要介護（介護が必要な状態）
- 4  認知症
- 5  身体障がい
- 6  知的障がい
- 7  精神障がい（うつ病などのこころの病気）（疑いを含む）
- 8  依存症（疑いを含む）
- 9  7、8以外の病気
- 10  日本語を第一言語としない
- 11  その他（具体的に↓）
- 12  わからない

問5-3 c) ケアの内容（あてはまるものすべてを選択）

- 1  家事（食事の準備や掃除、洗濯）
- 2  きょうだいの世話や保育所等への送迎など
- 3  身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
- 4  外出の付き添い（買い物、散歩など）
- 5  通院の付き添い
- 6  感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
- 7  見守り
- 8  通訳（日本語や手話など）
- 9  金銭管理
- 10  薬の管理
- 11  役所や学校などの書類の手続き
- 12  その他（具体的に↓）
- 13  わからない

すべての方にお伺いします。

問6 ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ

問7 つないだ機関

問8 外部機関へのつなぎ方（1つ選択）

- 1  市町村教育委員会経由
- 2  学校から直接連絡
- 3  その他（具体的に↓）

問9 学校で行った支援（つなぎ先との連携も含めて）

問10 支援した結果、子どもへの変化

(4) 要保護児童対策地域協議会アンケート票

**千葉県 令和4年度「ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究」  
要保護児童対策地域協議会における  
ヤングケアラーへの支援に関するアンケート調査**

**【ご回答方法】**

○：あてはまる選択肢を1つだけ選択してください。

□：あてはまる選択肢をすべて選んでください。（複数選択可）

数字または自由記述をご入力ください。枠の大きさは変更できませんが、文字数の制限等はありません。  
また、すべての回答内容が表示されていなくてもセル内に入力されていれば差し支えありません。  
※お答えいただく必要がない設問に誤って回答した場合でも、そのまま先にお進みください。

ご回答にあたり市町村を選択してください。

1  リストから選んでください

**I. 貴地域協議会の活動状況や「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応についておたずねします。**

問1 令和元年度及び2年度の貴地域協議会におけるケース登録数を教えてください。（数字を記入）

※登録種別ごとのヤングケアラーの内訳がわからない場合は、要保護・要支援児童ケース登録数全体の中で「ヤングケアラー」と思われる子どもの総数だけでもお教えてください。

ケースの内訳が分かる場合はこちらにご回答ください。

	令和元年度		令和2年度	
	登録件数	うち「ヤングケアラー」と思われる子どもの件数	登録件数	うち「ヤングケアラー」と思われる子どもの件数
① 要保護児童ケース登録数				
② 要支援児童ケース登録数				
③ 特定妊婦ケース登録数				

単位はいずれも件

ケースの内訳が分からない場合はこちらにご回答ください。

	令和元年度		令和2年度	
	登録件数	うち「ヤングケアラー」と思われる子どもの件数	登録件数	うち「ヤングケアラー」と思われる子どもの件数
④ 総数				

問2 貴地域協議会では「ヤングケアラー」と思われる子どもについて対応・支援ができていますか。（1つ選択）

- 1 ○ できていると思う
- 2 ○ ケースによってはできていると思う
- 3 ○ できていると思わない

問3 貴地域協議会では、「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態（背景・課題）を把握していますか。（1つ選択）

- 1 ○ 把握している ⇒ 問4へ
- 2 ○ 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない ⇒ 問5へ
- 3 ○ 該当する子どもがいない ⇒ 問6へ

問4 問3で「1. 把握している」と回答された地域協議会にお伺いします。  
貴地域協議会では、「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態をどのように把握していますか。また、いつ確認をすることが多いですか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている  
➡確認を行う時期を教えてください。
- 2  特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している  
➡確認を行う時期を教えてください。
- 3  関係機関や関係団体からの報告・指摘があった際に、「ヤングケアラー」として対応している
- 4  その他

問5 問3で「2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」と回答した地域協議会にお伺いします。その理由をお教えてください。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  地域協議会の構成職員において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 2  既存のアセスメント項目では該当する子どもを見つけにくい
- 3  虐待などに比べ緊急度が低いいため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
- 4  学校などでの様子を迅速に確認、把握することが難しい
- 5  介護や障害等の課題に関して、各関係機関や団体などの情報共有が不足している
- 6  家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
- 7  ケアマネやCW、学校の先生などに「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 8  ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
- 9  その他

II. ヤングケアラーと思われる子どもがいる場合の対応についてお伺いいたします。

問6 貴地域協議会では、要保護（要支援）児童の中に「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、下記のようなことについてどのように対応されていますか（対応することを決めていますか）。①～④についてそれぞれ1つ選んでください。

	1 他 の 要 保 護 （ 要 支 援 ） 児 童 と 同 じ 対 応	2 他 の 要 保 護 （ 要 支 援 ） 児 童 と は 別 に 決 め て い る	3 そ の 他	4 特 に 決 ま っ て い な い
① 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応方針を決定する部署（機関） ※ここでは進行管理の責任主体のことを指します	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○
② 「ヤングケアラー」と思われる子どもに対して、今後の対応等に関して意向把握をする人（部署・機関） ※ここでは必要な支援を主に行う機関のことを指します	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○



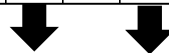
「2. 他の要保護（要支援）児童とは別に決めている」「3. その他」を選んだ場合は、具体的に教えてください。

	2. 他の要保護（要支援）児童とは別に決めている	3. その他
① 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応方針を決定する部署（機関）	<input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/>
② 「ヤングケアラー」と思われる子どもに対して、今後の対応等に関して意向把握をする人（部署・機関）	<input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/>



	1 ある	2 特 に ない	3 そ の 他
③ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、学校との連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○
④ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、医療機関との連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○
⑤ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、通訳を依頼するなど日本語ができない保護者等への支援を行う関係機関との連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○
⑥ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、高齢者支援に係る事業所（地域包括支援センター・ヘルパー・ケアマネ含む）等との連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○
⑦ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、障害者支援に係る事業所（基幹相談支援センター・ヘルパー・ケアマネ含む）等との連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○
⑧ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、中核地域生活支援センターとの連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○
⑨ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、子ども食堂や学童・児童館等の子どもが通う機関との連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○
⑩ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、市町村内の他部署との連携で工夫されていることがありますか。	1 ○	2 ○	3 ○

※ここでの医療機関とは、ケアの対象者が、医療的ケアが必要（精神疾患、依存症等）などで、ケア対象者自身が通っている医療機関のことを指し、子ども本人が通っている医療機関ではありません



「1. ある」「3. その他」を選んだ場合は、具体的に教えてください。

	1. ある	3. その他
③ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、学校との連携で工夫されていることがありますか。		
④ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、医療機関との連携で工夫されていることがありますか。		
⑤ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、通訳など日本語ができない保護者等への支援を行う関係機関との連携で工夫されていることがありますか。		
⑥ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、高齢者支援に係る事業所（地域包括支援センター・ヘルパー・ケアマネ含む）等との連携で工夫されていることがありますか。		
⑦ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、障害者支援に係る事業所（基幹相談支援センター・ヘルパー・ケアマネ含む）等との連携で工夫されていることがありますか。		
⑧ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、中核地域生活支援センターとの連携で工夫されていることがありますか。		
⑨ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、子ども食堂や学童・児童館等の子どもが通う機関との連携で工夫されていることがありますか。		
⑩ 「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため、市町村内の他部署との連携で工夫されていることがありますか。		

Ⅲ. 貴地域協議会におけるヤングケアラーの早期発見や支援などについておたずねします。

問7 貴地域協議会において、相談、通告のあった子どもや登録されている子どもが「ヤングケアラー」である可能性を確認する上で、課題に感じることはなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  地域協議会の構成職員において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 2  既存のアセスメント項目では、学校での様子について踏み込んだ把握ができない
- 3  既存のアセスメント項目では、日常生活の様子について踏み込んだ確認ができない
- 4  介護や障害等の課題に関して、各関係機関や団体などの情報共有が不足している
- 5  虐待などに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
- 6  家庭内のことで問題が表に出にくく、子どもの「ヤングケアラー」としての状況の把握が難しい
- 7  ケアマネやCW、学校の先生など子どもとも接する関係機関や団体の職員等において「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 8  ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
- 9  その他

問8 貴地域協議会において、「ヤングケアラー」と思われる子どもに対して支援をする際に、課題として考えられることはなんですか。

- 1  子ども自身がやりがいを感じていたり、自身の状況を問題と認識しておらず、支援を求めない
- 2  家族や周囲の大人に子どもが「ヤングケアラー」である認識がない
- 3  保護者が子どもへの支援に同意しない
- 4  地域協議会の関係機関・団体において、ヤングケアラーに関する知識が不足している
- 5  学校など関係機関との情報共有などネットワークの構築が不十分
- 6  福祉分野や教育分野など複数の機関にまたがる支援が必要となるが、そうした支援のコーディネートができる人材が地域協議会にいない
- 7  既存の公的サービスやインフォーマルサービスでは、利用できるものがなく、具体的な支援方を検討しにくい
- 8  その他

問9 貴地域協議会では、「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応として、学校やケアが必要な家族の関係機関等に期待することは何ですか。自由に記載ください。

学校に対して期待すること	
① 学校に対して期待すること	
ケアが必要な家族に関わっている機関に対して期待すること	
② 学校・保育所・幼稚園などに対して期待すること（きょうだいの世話をしているヤングケアラー等の支援）	
③ 保健センターに対して期待すること（きょうだいの世話、精神疾患の家族の世話をしているヤングケアラー等の支援）	
④ ケアマネなどに対して期待すること（高齢や認知症の家族介護等をしているヤングケアラー等の支援）	
⑤ 医療機関などに対して期待すること（精神疾患等の家族の世話をしているヤングケアラー等の支援）	
⑥ 県（児童相談所など）に対して期待すること（子ども自身への支援）	
その他の機関に対して期待すること	
⑦ その他の機関に対して期待すること	

問10-1 地域協議会では、「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応として、どんな支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1  広報紙やパンフレット、ポスターなどによる啓発
- 2  一般市民向けのヤングケアラーに関する講演会の開催
- 3  教育委員会等でのヤングケアラーの実態把握・調査
- 4  関係機関・団体とのネットワーク・連携体制の強化
- 5  関係機関・団体とのヤングケアラーに関する勉強会や研修の実施
- 6  ヤングケアラー（元ヤングケアラー含む）への相談支援の実施
- 7  ヤングケアラー（元ヤングケアラー含む）同士の交流の場の提供
- 8  SNS等のオンライン相談
- 9  ヤングケアラー支援のためのコーディネーターの配置
- 10  その他

11  現時点では、特になし

問10-2 上記で選択した支援について、具体的内容をわかる範囲でお教えてください。

問10-1にて選択した選択肢についてのみ記入してください。

①	広報紙やパンフレット、ポスターなどによる啓発	
②	一般市民向けのヤングケアラーに関する講演会の開催	
③	教育委員会等でのヤングケアラーの実態把握・調査	
④	関係機関・団体とのネットワーク・連携体制の強化	
⑤	関係機関・団体とのヤングケアラーに関する勉強会や研修の実施	
⑥	ヤングケアラー（元ヤングケアラー含む）への相談支援の実施	
⑦	ヤングケアラー（元ヤングケアラー含む）同士の交流の場の提供	
⑧	SNS等のオンライン相談	
⑨	ヤングケアラー支援のためのコーディネーターの配置	